



やまなし

第73号 2010年3月18日(年3回発行)

◎山梨県OT士会の法人化へむけての取り組みとして前号、今号に渡りその内容を掲載しています。今号は後編となります。今後の県士会にとって大切な話題となりますので、是非一読してみてください。

山梨県作業療法士会 法人化に向けてのおはなし(後編)

法人化準備委員会
担当理事 磯野弘司

1. 一般社団法人の特色

① 団体の公益性や目的は問わず、

登記だけで設立可能

団体として公序良俗に反しないものであれば設立可能です。認可ではなく登記なので条件が整っていればよいのです。従って同窓会や趣味の集まりも法人化できます。

② 社員2名以上で設立可能

法人は1人では設立できないので、最低でも2名以上の設立者が必要です。逆に言えば小さい団体であったとしても、2名以上で法人は設立できます。

③ 設立時の財産保有規制は設けない

これが今までの法人設立の障害になっていましたが、今回から財産の有無は法人化の要件にはならず、自由な法人登記を可能にしています。

④ 社員、社員総会及び理事は必ず置くこと

法人においては会員のことを社員と呼びます。県士会が法人化した際は一般会員は法律上は法人の社員ということになり、社員総会での議決権を持ちます。賛助会員はこの場合の社員には該当しません。

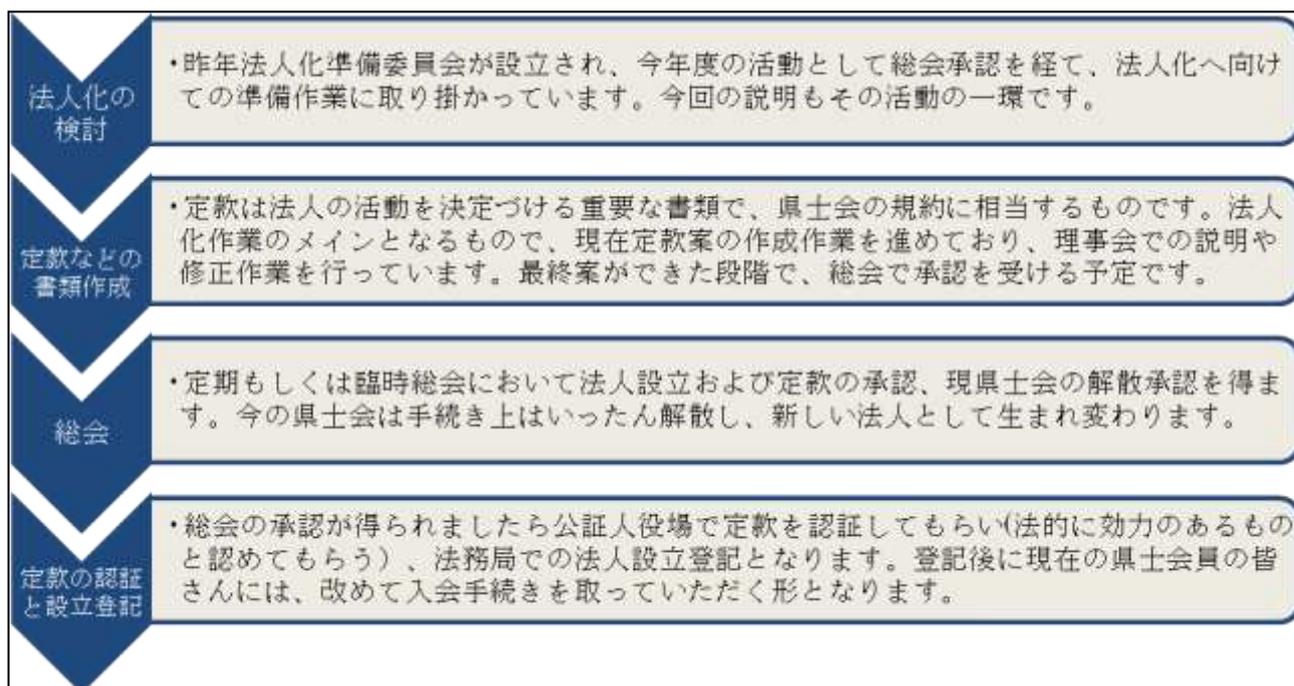
⑤ 原則課税のグループと原則非課税グループに区分

県士会是非営利団体なので原則非課税グループに属します。しかし冊子を販売したり、研修会の参加費等で利益が生じた場合には課税対象となります。法人には確定申告が義務付けられていますが、会員の会費は非課税となります。

もくじ

1p	山梨県作業療法士会 法人化に向けて
3p	地域リハビリテーション委員会 介助犬グループの活動
5p	活動紹介
7p	老健だより
8p	精神科だより
10p	身障だより
12p	理事会だより
15p	広告
17p	各種申請書変更のお知らせ ・編集後記

2. 一般社団法人設立までの流れ



3. おわりに

前回と今回の2回にわたって法人化に向けての内容を簡単にご説明させていただきました。もう少し詳しい内容は県士会のホームページに掲載中ですので是非ご覧ください。

＜学会運営部 第4回山梨県作業療法学会＞	
主催	山梨県作業療法士会
会期	平成22年4月25日(日) 9:00～21:00(予定)
テーマ	出会い～30年の歴史と明日への歩み～
会場	山梨県立大学 池田キャンパス 〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1 TEL:055-253-7780
対象	作業療法士および関係各種、学生、その他
問合せ先	山梨県作業療法学会 事務局 佐尾 健太郎 山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法課 〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855 TEL:0553-26-3030 FAX:0553-26-4569

介助犬をご存知ですか？

甲府城南病院
吉田尚史

はじめまして、私たちは地域リハビリテーション委員会介助犬グループです。今回は、介助犬及び私たちの活動について、簡単にご紹介します。

介助犬は、身体障害者補助犬法で定められています。使用者（肢体不自由者）のADL、外出・就労などの社会参加において、自立度やQOLの向上に効果があり、「生きた補助具」とも呼ばれています。そのため、作業療法士・理学療法士等が、基本動作の検証や総合評価に関わる必要があるとされています。

平成21年11月1日現在、日本国内で活躍中の介助犬は48頭です（厚生労働省発表）。山梨県内には、現在介助犬使用者の方が居ません。そのため、県民だけでなく医療従事者も介助犬と出会う場面が限られ、認知度が低いと言えます。認知度の低さや誤解は全国的な課題でもあり、使用者が介助犬の同伴を拒まれ参加制約を受けているという報告もあります。特に介助犬使用者は健康維持のために医療を必要とする事が多いですが、医療機関でも職員の無理解や態勢の不備により、介助犬の同伴や受け入れを拒まれる事があります。「生きた補装具」について、作業療法士の認知度が不足している事は、対象者の不利益につながる可能性があると思われます。

そこで私たちは、平成19年度より、介助犬を理解し普及を促進する目的で、数少ないメンバーで細々と活動を開始しました。立ち上げ当初は、メンバー内での知識も乏しく、内部学習会から開始しました。徐々に活動を広げ、山梨県障害福祉課からの情報収集、介助犬育成団体のデモンストラクション見学、実際に認定調査に携わるセラピストへのインタビューなどを行いました。第3回山梨県作業療法学会においては、2年間の活動報告を兼ねてポスター発表を行いました。

昨年、日本作業療法士協会は、介助犬育成事業者である社会福祉法人日本介助犬協会の法人会員となりました。また最近では、OTジャーナルに「介助犬がもたらす未来」というテーマで、介助犬について掲載されました。県士会会員の皆さんにも、介助犬を理解し関心を深めて頂くために、平成22年度には研修会を予定しております。皆さん振るってご参加下さい。また、グループ活動に興味のある方も、お気軽にご連絡下さい。



厚生労働省 ほじょ犬 ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/index.html>

＜日本離床研究会主催 教育講座＞	
テーマ	今離床させるべきか？症状から読み取る循環機能の評価～ドキドキする～
内容	離床のリスク管理必須の循環機能評価を臨床的切り口から学ぶ集中講座 1. 交感神経活性が意味する「ドキドキ」とは？ 2. 運動負荷？血圧低下？生体変化としての頻脈 等
主催	日本離床研究会
講師	徳田 雅直氏(大和成和病院) 他
開催日	平成 22 年 4 月 25 日(日)14:00～16:30
会場	愛知県女性総合センター(ウィルあいち)
参加費	4,800 円
申込方法	ホームページよりオンラインで申込み
問合先	日本離床研究会事務局 TEL: 03-3350-0526 URL: http://www.world-meeting.co.jp/jsea

＜お詫び＞

10月に発送した第72号の広報誌に「やまなし」のタイトルが掲載されてい
 ませんでした。いつもに比べ寂しい表紙になってしまい、申し訳ありませんでした。
企画編集部一同

みなさんのご意見お待ちしております！！

一緒に悩んでいきましょう…

担当理事

住吉病院 松田智子

企画研修局学術部では、平成21年度に7回の研修会を開催いたしました。毎回大勢の方に参加して頂き、ありがとうございました。参加者多数のため、急遽会場の変更や片付けを手伝って頂く等、参加者皆さんにご協力頂き、無事終了することが出来ました。

学術部では、『士会の皆さんの関心は何か？臨床で何を必要としているのか？最近の医療の情報は？』などを考え悩みながら研修会の企画を立てています。大事にしていることは、

- 実技研修などを入れ実際の臨床で役立つこと
- いろいろな分野の研修を入れていくことです。特に、毎回書いて頂いているアンケートのご意見はとても参考になっています。

これからも士会の皆さんの聴いてみたい企画を、と思っていますのでご協力下さい。また、アンケートの結果をまとめたものは講師の方にもお送りしています。

研修会では事前に講師の方と打ち合わせをし、講師の方のお考えと部員の企画（参加者の様子、人数、何を聴きたいのか・知りたいのか・臨床で悩んでいるのか）などを話し合っています。講師の方も熱心にどのような会にしたいのか、一緒に考えて下さったりします。そのような中で、講師の方と身近にお話をさせて頂き、先生の人柄、OTや臨床に対する思い・・・プライベートのいろいろなどを知ることが出来るのが、部員として得しているかな、と思われまふ。人生の先輩として生き方のお手本を見る思いです。また、研修会を通して学術部の活動を理解し、励ましや、県士会活動に協力する、と力強い言葉もかけて頂くこともありました。

研修会開催までには大変なこともあります。仲間と会を作り上げることやこれからのいろいろな活動につながっていく感じは、とてもやりがいのあることだと思っています。

学術部ではいろいろな分野の病院・施設から一緒に活動していただける部員さんを募集しております。また、現在平成22年度の活動計画を立てています。いろいろな意見を取り入れた研修会を企画していきたいと思っていますので、気楽にご意見を言っていただければ幸いです。部員へのアドバイスやホームページへの投稿などお待ちしております。

最近、部員の結婚や出産も多く、「部員さんになると幸せになれる」という噂もあります・・・。
是非 一緒に山梨県士会を盛り上げて行きましょう！

月1回の部会では、終了した研修会の報告や反省、次の研修会の企画、運営の相談などを行っています。

今回はお子さんの生まれたスタッフが・・・そんな報告があるとみんなハッピー♪♪



みんなでアイデアを・・・



全員で18名のスタッフです！！（載らなかった部員さんごめんなさい。）

老健だより

介護老人保健施設 ケアホーム花菱
デイケアセンター花菱
吉池 久美子

当施設は、平成 13 年 8 月に開設されました。施設規模は定員：入所 100 名、デイケアセンター 20 名、グループホーム 8 名です。リハビリテーション部は理学療法士 1 名、作業療法士 2 名の合計 3 名です。



当施設は、南アルプス市田島の田圃の中に建物があります。建物は 3 階建のオレンジ色で、田圃の中で一際目立っています。車では東南湖交差点を東側に向かい、峡西中央クリニックを右折し、左側に建物が見えてきます。景色が良く、ハヶ岳や富士山が一望出来ます。

私は昨年度中、入所のリハビリを主に行っていましたが、今年度からはデイケアの主担当となっています。リハビリ業務以外にも相談窓口としての役割も担っています。新規利用時の受付業務から携わっているため、御家族と介護支援専門員と関わる時間が自然と多くなっています。直接話をすることや自宅に訪問することで、自宅での様々な状況を聞くことや見ることが出来ます。以前よりもリハビリスタッフとしての問題点が把握し易くなり、同時に目標や計画も立て易くなっています。何より御利用者や御家族の希望が把握し易いので、目標や計画にも反映させることが出来ています。また、介護支援専門員からリハビリについて相談をされることもあり、意見交換をする場面も増えています。今回相談窓口を担当することで、デイケア利用時だけでは把握出来なかった事がたくさんあることに気付きました。最近ではその課題を御利用者はもちろん、御家族や介護支援専門員ともどう足並みを揃えるか、そしてどう信頼関係を築くかが一番の課題となっています。

また、目標達成のためにはデイケアの介護スタッフとの協力も不可欠で、ケア提供の連携も必要だと感じています。ADL・IADL の維持・向上のためには、お互いの専門性を活かし、リハビリスタッフと介護スタッフとの意見交換がとても重要だと思いました。目標を統一することで、御利用者のリハビリに対する意欲や生活意欲にも繋がると実感しています。



作業療法士以外での立場もあるため苦戦することもあります。日々新しい課題に直面しているため、充実感もあります。御利用者、御家族に満足していただけるようより良いリハビリ、そしてケアの提供が出来るように努力していきたくと思います。

精神科だより

対応に悩む日々

山梨厚生病院 池田 恵理

私は作業療法士として働くようになって4年が経ちますが、一人ひとりの患者さんに対して、適切に対応できているのだろうかと思悩む日々を送っています。今回精神科だよりを書く事になり、この機会に、就職して初めて新患から担当しているSさんとの話を書きたいと思います。

就職した当初は、先輩方から引き継いだ患者さんが多かったのですが、初めて新患のSさんを担当する事になりました。高齢の患者さんが多い中で、唯一私と同年代のSさん。早いものでSさんとの付き合いも4年になりますが、病状は改善せず、私は日々対応に困っています。Sさんとの関係性は強まってきましたが、それに伴って感情表出も激しくなってきました。病状が安定していない事もあります、病棟でも約束を守れなかったり、迷惑行為や問題行動があったりと、注意ばかりされていてそのストレス反応がOTで出ているようです。

ある朝、OT室に来室したSさんに「おはようございます」と挨拶をすると「話しかけないで！」と一言。いきなりそれかぁ…と思いながらも「そういう言い方はないですよ。」と返しますが、無視をして作業を始めるSさん。「池田さん！」と呼ばれて行ってみると「来ないで！」（呼んだのはSさんなのに…）「病棟で怒られるのは、ゼーンぶ池田さんのせい！」と理不尽で一方的な言い方をする始末。その都度、真剣に話をしようとしても一方的に怒る為、暫くSさんから離れて様子を見ています。すると、「池田さーん」とさっきとは全く別人のように穏やかになって私を呼ぶSさん。途中まで出来た作品を見せながら「池田さんがいてくれるから上手く出来たよ！」と調子良く話す。そんなSさんに“振り回されないように”と自分に言い聞かせながら対応しています。

気分変動の激しいSさんも、時々「退院してお母さんと暮らしたい。」「仕事をして、お母さんの面倒をみないと…」とつぶやく事があります。きっとこれがSさんの本当の思いなんだと感じる瞬間です。こういう思いがあるSさんと、真剣に将来について話が出来る日が来るだろうか…。

現在、Sさんは1500ピースのパズルに向かっていきます。Sさんが自分で広告にO印を付けて持ってきて「これがやりたい！」と意欲を見せたものです。難しいのは百も承知でしたが、折角Sさんがやる気を見せたのだから「一緒に頑張りましょう」と約束をして取り組んでいます。しかし、怒鳴ってみたり、笑ってみたり…相変わらず波はあります。先はまだまだ長いですが、Sさんと一緒にこのパズルを完成させた時、私とSさんとの間で何か変化があったら良いなと思いつつ続けていきたいと思っています。

“一貫した対応”とても大事な事であると思います。しかし最近思うのは、作

業療法士も人間であるという事。暴言を吐かれれば、心がズキッと痛みます。叩かれたり、蹴られたりする事もしばしば…。私には、そんな痛みを分かってフォローしてくれる上司や先輩・同僚がいます。そして、「いつも負けなで頑張っているね」「OTに来るのが楽しみ」等と言ってくれる患者さんがいます。辛く、落ち込む事もありますが、沢山の人の支えがあって、励まされながら毎日頑張っているのだと思います。知識や技術だけでなく、このような痛みや悩みも共有する事が大事であると感じています。これからも日々悩みながらも頑張っていきたいと思っています。

＜ノーマン・B・エプスタイン博士の認知行動療法ワーク ショップ＞	
テーマ	Enhanced Cognitive-Behavioral Therapy for Couples カップル(夫婦)のための拡張認知行動療法
開催日	平成 22 年 8 月 6 日(金)～8 日(日) 9:30～16:30
プログラム	夫婦家族認知行動療法を系統的に学べるようにノーマン・B・エプスタイン博士 にプログラムを作成していただいております。書ききれないために、誠に申し訳ございませんが、ホームページをご一読いただければ幸いです。 URL: http://www.y-sinrisoudan.ne.jp/Epstein.htm
会場	TKP 代々木ビジネスセンター(東京)
定員	150 名(限定募集)
参加費	1 日コース 8 月 6 日(金)のみ 一般 14,000 円/学生 10,000 円 2 日コース 8 月 7 日(土)～8 日(日) 一般 32,000 円/学生 30,000 円 3 日コース 8 月 6 日(金)～8 日(日) 一般 45,000 円/学生 39,000 円 ※平成 21 年 12 月 31 日までに一般の 3 日コースをお申し込みの参加費用 通常料金 45,000 円 → 早期割引料金 40,000 円
問合先	横浜心理相談センター(電話受付は月～日曜日の 9:00～17:00) 〒221-0045 神奈川県横浜市神奈川区神奈川 2-18-18 アイランドパレス東神奈川 302 TEL/FAX:045-451-0041 E-Mail: info@y-sinrisoudan.ne.jp URL: http://www.y-sinrisoudan.ne.jp/

身障だより

山梨厚生病院
勝俣 奈央子

山梨厚生病院は、国道140号線沿いに面した山梨市に位置し、近くにはフルーツ公園や万力公園があります。当院は、一般病床や精神科病床合わせて620床ある総合病院です。OT科は県内ではめずらしく、精神科領域と身体障害領域との2部門に分かれており、今回は身障OT室について紹介させていただきます。

リハビリテーション科は6階にあり、PT11名、ST1名、OT6名が在籍しています。各フロアからは、峡東地域の四季折々の風景を一望することができ、春には桃の花でできたピンクのじゅうたんを眺められます。日当たり良好の広々とした環境で四季の移ろいを感じながら患者様とOTを行っています。



～外観 OT室は最上階～

主な対象は、急性期の脳血管障害の方々です。発症後数日よりベッドサイドにてOTを開始しています。また、維持期の頸髄損傷の方も多く入院されているため、機能訓練や自助具作製などを行っているのも特徴としてあげられます。それ以外に総合病院ということもあり、多岐に渡る疾患を対象としています。最近では、外科（消化器系の開腹術後、乳がん術後）や内部疾患などの対象が増え、院内でOTが介入する場も多くなっています。

患者様は地元の方がほとんどで、自宅へ退院される方や近隣のリハビリテーション病院へ転院される方などがいます。（みなさんの施設にいつもお世話になっています。）また、周囲には桃やブドウ畑が多いことから80歳を過ぎても現役で農業を頑張る元気な高齢者が多いことも対象者の特徴です。



～天気の良い日には富士山も見えます～

当院では急性期からの関わりが多く、常にリスク管理を念頭にOTを行っています。年々対象となる疾患が多くなっているため、院内で行われる疼痛緩和、ストーマ勉強会などに参加し、知識を広げるよう努力しています。急性期病院の在院日数は短く、数週間～1ヶ月ちょっとの方がほとんどで、長くて2ヶ月のお付き合いです。徐々に患者様のことがわかってきた頃にはお別れなので、少し寂しく感じる時もあります。



また、短期間で評価し他職種と情報共有しながら今後の方向性を早期に考えなければならぬことに難しさを感じています。大変な部分が多くありますが、患者様の日々の回復を実感して一緒に喜びを感じる機会も多くあります。今後も患者様、ご家族に寄り添ってOTを行っていかれたらと思います。

最後に、身障だよりは今のところ企画編集部内で回っています。そして、そろそろ持ち駒が終わろうとしています…。来年度はみなさんの施設のお願いする事になると思いますが、その節は快く引き受けていただけたらと思います。会員の方々に自分たちの施設の様子や日々の業務などについて知ってもらえる場になればと思っています。あまり堅苦しくなく書いていって下さい。企画編集部一同、宜しくお願いします。

理事会だより

平成21年度9月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成21年9月30日（水）

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、三瀬、飯野、磯野、山田、松田、工藤、古屋、青木、中村、佐田；計12名

1. 副会長（川崎・広田）

1) 平成21年11月5日（木）山梨県病院協会主催で『障害の受容』についての研修会を予定。

2. 事業局（山田）

<保険医療福祉部>

1) 平成21年9月26日（土）いきいき山梨ねんりんピック開催。

2) 平成21年9月4日（金）～9日（水）岡島百貨店にて障害者文化展を開催。9施設より31作品の展覧があった。

3) 平成21年11月24日（木）地域リハビリテーション従事者研修会に、甲州リハビリテーション病院の久保田好正氏が参加予定。

<生涯教育部>

1) 研修会報告・現職者共通研修

テーマ：「作業療法における協業・後輩育成」

講師：坂井 一也 氏（健康科学大学）

日時：平成21年9月9日（水）19:00～20:30

場所：帝京医療福祉専門学校 参加：71名

テーマ：「職業倫理」

講師：古屋 豊美 氏（山梨厚生病院）

日時：平成21年9月25日（金）19:00～20:30

場所：山梨厚生病院 参加：67名

平成21年度10月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成21年10月20日（水）

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、川崎、広田、三瀬、飯野、青木、磯野、山田、松田、黒崎、工藤；計11名

1. 副会長（川崎・広田）

1) 平成21年11月11日（水）市民会館にて精神保健福祉大会を開催予定。

2. 事業局（山田）

<厚生部>

1) 平成22年1月20日（火）に、新年会を開催予定。

3. 学術局（松田・黒崎・工藤）

1. 広報局（飯野）

<企画編集部>

1) 広報の発送部数について：第71号；465部、第72号；475部、第73号；485部を予定。

2. 学術局（松田・黒崎・工藤）

<企画研修部>

1) 第4回・第5回の研修会を開催

テーマ：「機能解剖からハンドを考える」

講師：椎名 喜美子 氏

（帝京科学大学医療科学部 作業療法学科）

日時：第4回 平成21年10月21日（水）

第5回 平成21年10月28日（水）

場所：帝京医療福祉専門学校

参加者：第4回：166名、第5回：152名

2) 第6回研修会を開催

テーマ：「発達につまずきのある子ども達への関わり方の視点について

～山梨県における小児作業療法の歴史と現状報告から～」

講師：渡邊 ひろみ 氏

（山梨県福祉保健部長寿社会課）

平松 洋子 氏（甲府共立診療所）

大島 隆一郎 氏（健康科学大学健康

科学部作業療法学科・健康科学大学リハビリテーションクリニック）

日時：平成21年11月18日（木）

場所：石和共立病院 理学療法室

参加者：128名（内36名が他職種）

3) 第7回の研修を予定

テーマ：「上肢機能 ～再考～」

講師：山本 伸一 氏（山梨リハビリテーション病院 作業療法士）

日時：平成21年12月13日（日）

場所：山梨リハビリテーション病院 5階

理学療法室・作業療法室

<生涯教育部>

1) 第5回現職者共通研修を開催

テーマ：「世界の作業療法の動向」

講師：近藤 知子 氏（帝京科学大学）

日時：平成21年11月4日（水）

場 所：帝京医療福祉専門学校 3階 視聴覚室

参加者：70名

2) 第6回現職者共通研修を開催予定

テーマ：事例検討方法論

講 師：磯野 弘司 氏 (春日居リハビリテーション病院)

日 時：平成21年12月2日(水)

場 所：帝京医療福祉専門学校

3) 現職者選択研修 老年期障害領域研修会を開催

テーマ1：老年期障害の作業療法(総論)

講 師：都築 和子 氏 (山梨県福祉保健部
長寿社会課 介護保険指導監)

テーマ2：「在宅(介護保健サービス)における
老年期作業療法」

講 師：小川 秀一 氏
(竜王リハビリテーション病院 デイケア春海)

テーマ3：「認知症に対する作業療法」

講 師：守口 恭子 氏 (健康科学大学)

テーマ4：「老年期障害作業療法における環境
設定(特に物理環境設定)」

講 師：関谷 宏美 氏 (甲州リハビリテーション
病院)

日 時：平成21年11月8日

場 所：帝京医療福祉専門学校

参加者：68名

4) 平成23年に選択研修会(発達障害領域)を山
梨県で開催予定。

3. 特設委員会(磯野)

<地域リハビリテーション委員会>

1) 平成21年11月29日(日)に研修会を開催予
定。102名が参加を予定している。

テーマ：働くことを支援する
～高次脳機能障害と作業療法

～

講 師：野々垣 睦 先生 (クラブハウス・
すてっぷなな 所長 作業療法

士)

日 時：平成21年11月29日(日)

場 所：山梨県市民会館 3階大集会室

平成21年度12月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成21年12月14日(月)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、三瀬、青木、磯野、山田、松
田、黒崎、工藤、古屋；計10名

1. 会長(山本)

1) 平成23年9月18日・19日に、山梨県で日本作
業療法士協会全国研修会を開催予定。会場はホ
テルベルクラシックを予定。

2. 事業局(山田)

<保健医療福祉部>

1) 平成21年11月24日(第2回目)、平成21年
12月7日(第3回目)：ホームヘルパー1級研
修開催。講師として、山田 稔 氏(富士温泉
病院)、諏訪 葵 氏(富士温泉病院)が参加。

2) 平成21年11月25日(水)福祉の仕事セミナ
ー開催。山田 稔 氏(富士温泉病院)、駒谷
幸浩 氏(湯村温泉病院)が参加。

3. 学術局(松田・黒崎・工藤)

<企画研修部>

1) 第7回研修会開催

テーマ：「上肢機能～再考～」

講 師：山本 伸一 氏

日 時：平成21年12月13日(日)

場 所：山梨リハビリテーション病院理学療法室

参加者：111名

<生涯教育部>

1) テーマ：現職者共通研修「事例検討方法論」

講 師：磯野 弘司氏(春日居リハビリテーション病
院)

日 時：平成21年度12月2日(水)

参加者：66名

4. 常設委員会

<倫理委員会>

1) テーマ：「医療技術者としての接遇～対象者・
家
族とのやりとりを考えて～」

講 師：神吉 まゆみ 氏

(山角病院 精神保健福祉

士)

日 時：平成22年2月18日(木)

場 所：山梨県福祉プラザ

平成22年度1月期 山梨県作業療法士会理事会

山梨県作業療法士会ニュース No73. 2010. Mar

日時：平成22年1月19日（火）

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、川崎、広田、三瀬、磯野、山田、松田、黒崎、古屋、中村；10名

1. 事務局（三瀬）

- 1) 山梨県社会福祉協議会より、「福祉のしごとガイドブック」作成に伴う取材についての依頼があり、山梨リハビリテーション病院へ依頼。
- 2) 難病情報センターよりアンケート依頼があり、三瀬事務局長が対応。
- 3) 都道府県作業療法士会連絡協議会より、「自立支援に向けた教育者要請研修会・モデル事業等に関する連絡協議会」アンケートの依頼があり、三瀬事務局長が対応。

- 4) 30周年記念式典について進捗状況報告：記念誌と学会誌に関して現在作成中で、3月中には完成予定。

2. 事業局（山田）

<保険医療福祉部>

- 1) 平成22年2月12日（金）

「高齢者のためのアクティビティ講座」を予定。講師を河野 順一氏（一宮ケアセンター）に依頼

3. 学術局（松田・黒崎）

<生涯教育部>

- 1) 平成22年3月7日（日）に事例報告検討会を開催予定。12施設・32名の演題発表を予定している。

<学会運営部>

- 1) 第4回山梨県作業療法学会について

プログラム：シンポジウムのテーマは、「生活を支えるOTを目指して」。3人のシンポジストと司会に依頼を済ませた。「ピアサポート、OTらしさ、仲間づくり、家族を知る、患者」をキーワードとしてシンポジウムを行う予定。

- 2) 学会誌：表紙が決定し、ISSNの登録に向けて準備をしている。記念品：エコバックに決定

4. 常設委員会（古屋）

<福祉用具委員会>

- 1) 第1回研修会を開催

テーマ：福祉用具「基礎編」

講師：関谷 宏美 氏 他3名

日時：平成22年1月17日（日）

場所：帝京医療福祉専門学校

参加者：77名

<災害対策準備委員会>

- 1) 研修会について

テーマ：「大規模災害に対する心構え」

講師：山梨県 消防防災課 防災対策担当

課長補佐 中込 良夫

氏

日時：平成22年2月2日（火）

受付：18:30～ 開始19:00～

場所：山梨県立青少年センター 2F

多目的ホール

わたしたちは人生を毎日楽しんでいただけるよう **3Life** をサポートいたします。

Life ① 生命

「痛い」「熱い」など、生物としての感覚レベルでの適合

お客さまひとりひとりの身体の形・機能に合った製品を心をこめて選び、作り、お渡しています。

Life ② 生活

「食事」「睡眠」「移動」など、人間としての日常生活レベルでの適合

さまざまな提案をすることにより、生活シーンごとに生じる問題を解決し、より快適な暮らしが出来るようお手伝いをしています。

Life ③ 人生

「就職」「社会的活動」「レジャー」など、個人としての自己実現レベルでの適合

仕事や趣味、スポーツなど色々なことにトライし、自分らしさを求めるお客さまを深い経験と高い技術力でサポートしています。

義肢装具



車いす



ゲイトソリューションデザイン



PPSスイッチ



コミュニケーション機器



マイスプーン



k 川村義肢株式会社

山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188

TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

富士山をあおいで
医療・福祉・心理を学ぼう

健康科学部

理学療法学科

作業療法学科

福祉心理学科



健康科学大学

交通案内 富士急行河口湖駅よりスクールバスにて10分
〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立 7187

お問合せ 0555-83-5240 (通学課センター直通)
URL <http://www.kenkoudai.ac.jp>



ノラクソン筋電計シリーズ **SAKAImed**
株式会社サカイメディカル

簡単操作で
 バイオフィードバック
 トレーニング



酒井医療株式会社
 関東支店
 Tel : 048-255-0451
 www.sakaimed.co.jp

携帯型筋電図計測装置 マイオトレース400

介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
 介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい・・・

株 サシカイゴ

玉穂店 中央市若宮13-4 TEL:055-274-1152
 シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 TEL:055-251-1121

GC やさしさ・おもいやり・・・
Good Care, LTD. 有限会社 **グットケア**

当社は、在宅福祉を支援する会社です。
 下記事業所にて、お気軽にご相談ください。



◎住吉・訪問介護・居宅支援 ☎055-236-6006
 (本部)・福祉用具貸与・販売 住宅改修
 ○朝気・デイサービスセンター「笑くぼ」☎055-236-6336
 ○東光寺・訪問介護 ☎055-236-6556
 ・デイサービスセンター「よつ葉」☎055-236-6344



山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又は FAX にてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX : 055-241-8660 (代) TEL : 055-241-5811 (代)



編集後記

いつも執筆依頼を受けていただいている皆様には有難く思っております。患者様のために苦心されている皆様の様子が垣間見れて、自分も、もっともっと頑張らなければ、と刺激になっております。(ふ)

最近布団とお友達になり、出るのが大変です。春を待ちつつ、花粉対策にもいそしむ毎日です。(河)

寒がりの僕ですが、ズボンの下にレッグウォーマー！！200円程でホカホカです。男性にもお勧めですよ。(なり)

今年の風邪でノドを2回すでに痛めた。これからは花粉でノドをやられそう。(米)

今年の冬は半身浴にしょうが紅茶にはまってました。お陰で？身体があっただかくなった気が。。。。。(な)

とある企画で一月ほど万歩計をつけて生活しています。今までいかに歩いていなかったか！！ということを実感し、体力作りのためにもせっせと歩いています。まあ、体力がついた気配はないですが。。。。。(み)

今年度最後の広報誌となります。皆さんの期待に添えていたでしょうか？ご意見などありましたら、企画編集部までぜひお願いします。(い)

今回の校正作業では、メールアドレスの問題で皆さんにご迷惑をおかけしてしまいました。これからは、いつも余裕をもった準備をするようにします。私生活もそうできたら。。。。。(つ)

発行人：山本 伸一

編集人：飯野 知一・勝俣 奈央子・三枝 美和・小澤 有香・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

山梨厚生病院 〒405-0033 山梨県山梨市落合 860 TEL 0553-23-1311 FAX 0553-23-0168

印刷所：エンドレス(株) 〒405-0014 山梨県山梨市上石森 123 TEL 0553-22-4574